

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人とおの松寿会

目 次

- 【1】 社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 【2】 社会福祉法人とおの松寿会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～11
- 【3】 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）・・・・・・・・・・・・・・ 12～18
- 【4】 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）・・・・・・・・・・・・・・ 19～23
- 【5】 老人デイサービスセンター長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24～26
- 【6】 居宅介護サポートセンター長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27～29
- 【7】 生活支援ハウス長寿園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30～31
- 【8】 養護老人ホーム長寿の森吉祥園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32～38
- 【9】 デイサービスセンター長寿の森踊鹿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39～41
- 【10】 ヘルパーステーション長寿の森・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42～44
- 【11】 小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45～49
- 【12】 経営改革室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50～52

【1】社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括

松田功理事長が逝去され、小時田繁新理事長体制に変わり、4年間猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度。とおの松寿会は、設立23年目となりました。

引き続き感染防止に努めながら拠点ごとに施設行事の実施や地域との交流など活動機会を少しずつ増やし、利用者の楽しみや潤いのある生活の提供に努めました。また、新型コロナウイルス感染症の状況を把握しながら利用者と家族が対面で面会ができるよう段階的に面会制限の緩和をしました。

長寿の郷拠点では、介護現場の効率化と生産性向上を目指し、介護DXの基盤となるWi-Fi環境整備をはじめとする介護記録ソフトの一本化、見守り介護ロボットの導入など設備投資を行いました。また、オムツと寝具の見直しを行いムリ、ムダ、ムラの削減に取り組みました。

長寿の森拠点では、新型コロナウイルス感染マニュアルを作成し、感染症対策の強化と各種会議など時間管理を徹底し効果的な時間の活用に取り組みました。

長寿庵では、赤色灯を外に設置して火災報知機と連動させ、周囲に知らせる機器を導入し、防災対策の強化を図り、また運営推進委員を通じて地域との連携強化に取り組みました。

10月には過去最高となる最低賃金の改定が行われたことに合わせ、当法人においても全職員対象に基本給を月額1.5%~4.5%、月額平均5,210円の賃上げを行いました。さらに2月からは、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、介護職員の処遇改善のための補助金が給付され、全職員対象に既存の処遇改善手当に月額1,500円~5,000円を上乗せし支給しています。

そして今年度は、法人理念の実現のための羅針盤となる中長期計画の更新の年となりました。経営改革の取り組みと並行し、主任を中心に第三期中長期計画を検証し、現状把握・分析し、課題の整理を行いました。そして「経営」「利用者支援」「地域社会」「職員」の4つの枠組みで今後6年間の目標と重点的に取り組む項目を明確にした第四期中長期計画を策定しました。確実な実行が望まれます。

引き続き人材確保・育成・定着が大きな課題です。今年度は、新卒者1名、中途採用者11名（介護9名、生活相談員2名）を採用しました。退職者は18名（介護14名、看護3名、生活相談員1名）で採用者を上回りマイナス7名になりました。特に中堅・リーダーを担う職員の離職率が高く、今まで積み上げてきた介護現場の経験値やスキルの損失を招いています。人材確保はもちろんのこと、今後は人材育成と定着の取り組みが課題解決の大きなカギになると思われます。

最後に当法人のような介護事業所においては、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染症対応、活動の制限など負担の増加と我慢を強いられる状況です。やりたいことができないもどかしさ、人と人のつながりが希薄化し閉塞感が漂っています。このような状況でありましたが、法人理念の実現のため、職員同士助け合いながら活動できた1年でした。

【2】社会福祉法人とおの松寿会の概要

1 法人の概要

主たる事務所の所在地	岩手県遠野市松崎町白岩 18 地割 7 番地		
法人の名称	社会福祉法人とおの松寿会		
代表者職氏名	理事長 小 時 田 繁 (おときだ しげる)		
設立許可年月日	平成 13 年 3 月 13 日	設 立 年 月 日	平成 13 年 3 月 23 日

2 役員等の状況

令和 6 年 3 月 31 日現在

氏 名	就任年月日	職 業 等	氏 名	就任年月日	職 業 等
理 事 (定数 6 名、現任数 6 名、欠員 0 名)					
小 時 田 繁	R5. 6. 23	会社役員	立 花 敬 三	R5. 6. 23	会社役員
菊 池 照 夫	R5. 6. 23	会社役員	千 葉 純 子	R5. 6. 23	開業医
松 田 孝	R5. 6. 23	会社役員	菊 池 浩 之	R5. 6. 23	施設長
監 事 (定数 2 名、現任数 2 名、欠員 0 名)					
菊 池 清	R5. 6. 23	民生児童委員	琴 畑 錦 一	R5. 10. 10	民生児童委員
評議員 (定数 7 名、現任数 7 名、欠員 0 名)					
田 中 昭 彦	R3. 6. 24	歯科医師会	村 上 俊 市	R3. 6. 24	松崎町 第 8 区自治会長
米 田 昭 子	R3. 6. 24	前第三者委員	小 向 浩 人	R3. 6. 24	長寿の郷家族会
鈴 木 行 雄	R3. 6. 24	民生児童委員	正 部 家 孝 枝	R3. 6. 24	松崎町代表
菊 池 よ し	R5. 5. 25	前法人事務員			

4 令和5年度理事会・評議員会の開催状況

[理 事 会]

第1回臨時理事会

令和5年5月12日

- 議案第1号 補欠評議員候補者の決定について
- 議案第2号 補欠評議委員選任・解任委員会委員の選任について
- 議案第3号 評議員選任・解任委員会の招集について

第2回臨時理事会

令和5年5月26日

- 議案第4号 補欠理事候補者の決定について
- 議案第5号 評議員会の招集について

第3回臨時理事会

令和5年5月26日

- 議案第6号 理事長の選定について

第1回定例理事会

令和5年6月9日

- 議案第7号 令和4年度事業報告について
- 議案第8号 令和4年度決算の承認について
(監査報告)
- 議案第9号 新役員候補者の決定について
- 議案第10号 令和5年度定時評議員会の招集について

第4回臨時理事会

令和5年6月23日

- 議案第11号 理事長の選定について

第5回臨時理事会

令和5年10月6日

- 議案第12号 令和5年度第1次補正予算(案)について
- 議案第13号 育児・介護休業に関する規則の変更について
- 議案第14号 就業規則の変更について
- 議案第15号 職員給与及び退職金規則の変更について
- 議案第16号 補欠監事候補者の決定について
- 議案第17号 評議員会の招集について

第2回定例理事会

令和6年3月22日

- 議案第18号 令和5年度第2次補正予算（案）について
- 議案第19号 第四期中・長期計画の策定について
- 議案第20号 令和6年度事業計画（案）について
- 議案第21号 令和6年度予算（案）について
- 議案第22号 第三者委員の選任について
- 議案第23号 職員就業規則の変更について（定年延長）
- 議案第24号 職員給与及び退職金規則の変更について（手当額増）

[評議員会]

臨時評議員会

令和5年5月26日

- 議案第1号 補欠理事の選任について

定時評議員会

令和5年6月23日

- 議案第2号 令和4年度決算の承認について
（監査報告）
- 議案第3号 新役員の選任について
- 報 告 令和4年度事業報告について

臨時評議員会

令和5年10月10日

- 議案第4号 補欠監事の選任について

5 法人の運営状況

(1) 職員採用について

5年度職員採用・退職状況

採 用	新 卒	介護職員 1 人
	中 途	介護職員 9人 看護職員 0人 生活相談員 2人 介護支援専門員 0人 (管理) 栄養士 0人 機能訓練指導員 0人 事務員 0人 調理員 0人
退 職		介護職員 14人 看護職員 3人 生活相談員 1人 介護支援専門員 0人 (管理) 栄養士 0人 機能訓練指導員 0人 事務員 0人 調理員 0人

(2) 社会福祉関係の専門資格取得に関して

社会福祉・介護関係有資格者数（令和6年3月31日現在）

社会福祉士	3名
介護支援専門員	19名
社会福祉主事	30名
介護福祉士	86名
ヘルパー1級	4名
ヘルパー2級・介護職員初任者研修	74名
看護師	7名
准看護師	7名
作業療法士	3名
按摩・マッサージ・指圧・針灸師	0名
管理栄養士	0名
栄養士	3名

※複数の資格を有する者あり

(4) 運営事業

介護保険事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備 考
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷 (岩手県指定)	入所定員 64名 ユニット型居室 64室 第 0370800153号	●平成 14年 3月 20日	平成 27年 3月 20日に従来型 多床室と分離
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷（従来型） (岩手県指定)	入所定員 36名 居室 12室（2人部屋：4室、 3人部屋：4室、 4人部屋：4室） 第 0370800476号	●平成 27年 3月 20日	平成 27年 3月 20日にユニッ ト型個室と分 離

<ul style="list-style-type: none"> ●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 (岩手県指定)	入所定員 23 名 (併設型) 居室 17 室 (個室: 14 室、 3 人部屋: 3 室) 第 0370800161 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 (空床利用型) (岩手県指定)	入所定員 64 名 (併設型) ユニット型居室 64 室 第 0370800484 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 27 年 3 月 20 日 ●平成 27 年 3 月 20 日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) 老人デイサービスセンター長寿園 (岩手県・遠野市指定)	利用定員 25 名 (併設・一般型) 基本サービス 6~7 時間 1 単位 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800179 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) デイサービスセンター長寿の森 踊鹿 (岩手県・遠野市指定)	利用定員 30 名 (併設・一般型) 基本サービス 6~7 時間 1 単位 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800237 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 16 年 4 月 1 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日 	平成 21 年 7 月 1 日利用定員を 30 名から 35 名に変更 平成 30 年 4 月 1 日利用定員 35 名から 30 名に変更
<ul style="list-style-type: none"> ●居宅介護支援事業 居宅介護サポートセンター長寿園 (岩手県指定)	介護支援専門員 4 名 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800187 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 14 年 3 月 20 日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●特定施設入居者生活介護事業 養護老人ホーム長寿の森吉祥園指定特定施設	入所定員 50 名 居室 28 室 (個室: 6 室、 2 人部屋: 22 室) 第 0370800294 号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 18 年 10 月 1 日 	

(岩手県指定)			
<ul style="list-style-type: none"> ●訪問介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業（訪問介護相当サービス） ヘルパーステーション長寿の森 (岩手県・遠野市指定)	通常サービス提供区域：旧遠野市の区域 第0370800286号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成18年 10月1日 ●平成18年 10月1日 ●平成29年 4月1日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●小規模多機能型居宅介護事業 ●介護予防小規模多機能型居宅介護事業 小規模多機能型居宅介護事業所 長寿庵 (遠野市指定)	登録定員 29名 通い定員 15名 泊り定員 9名 居室 9室（個室：5室、 個室以外の宿泊室：4室） 第0390800027号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年 5月10日 ●平成19年 5月10日 	平成27年4月1日登録定員を25名から29名に変更
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症対応型共同生活介護事業 ●介護予防認知症対応型共同生活介護事業 グループホーム長寿庵 (遠野市指定)	入所定員 9名 居室 9室（個室：9室） 第0390800043号	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年 5月10日 ●平成19年 5月10日 	令和2年2月から休止

措置・受託事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備考
<ul style="list-style-type: none"> ●養護老人ホーム事業 養護老人ホーム長寿の森 吉祥園 (遠野市措置)	入所定員 50名 ショート定員 2名（遠野市生活管理短期宿泊事業） 居室 29室（個室：6室、 2人部屋：22室、 ショート2人部屋：1室）	<ul style="list-style-type: none"> ●平成16年 4月1日 	
<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援ハウス事業 生活支援ハウス長寿園 (遠野市受託)	利用定員 10名 居室 9室（個室：8室、 2人部屋：1室）	<ul style="list-style-type: none"> ●平成14年 4月1日 ●平成21年 4月1日 	遠野市より受託委託契約更新

●生活管理指導短期宿泊事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 (遠野市受託)	遠野長寿の郷の空床を利用	●平成14年 10月1日 ●平成21年 4月1日	遠野市より 受託 委託契約 更新
---	--------------	-----------------------------------	---------------------------

(5) 職員体制 (令和6年3月31日現在)

①長寿の郷及び長寿園の職員数

施設区分	遠野長寿の郷		長 寿 園			合 計
	長期入所	ショートステイ	老人デイサービス	生活支援ハウス	居宅介護サポート	
常勤職員	51	13	8	2	3	77
内、臨時職員	5	0	1	0	0	6
非常勤職員(パート)	11	1	2	0	0	14
嘱託職員(含 嘱託医)	8	0	1	0	0	9
合 計	70	14	11	2	3	100

②長寿の森の職員数

施設区分	吉 祥 園	デイサービス 踊 鹿	ヘルパー ステーション	合 計
常勤職員	16	8	8	32
内、臨時職員	1	1	1	3
非常勤職員(パート)	7	4	2	12
嘱託職員(含 嘱託医)	4	1	1	6
合 計	27	14	12	53

③長寿庵の職員数

施設区分	小規模多機能 型居宅介護	グループホーム	合 計
常勤職員	10	0	10
内、臨時職員	2	0	2
非常勤職員(パート)	4	0	4
嘱託職員	2	0	2
合 計	16	0	16

(6) 社会福祉法人とおの松寿会の動き

令和5年		概 況
4	3	令和5年度辞令交付式
	5	法人全体会議（事業計画周知、勤続職員表彰）
	20・21	職員定期健康診断
	25	遠野市社会福祉法人等連絡会設立総会（理事長・事務長出席）
5	12	第1回臨時理事会
	17	とおの就職ガイダンス
	18	監事下半期出納調査及び決算監査
	25	評議員選任・解任委員会
	26	第2.3回臨時理事会、第1回臨時評議員会
6	2	会計監査人監査結果報告
	5	法人全体会議（事業報告）
	9	定例理事会
	21	長寿の郷家族会総会
	23	定時評議員会、第4回臨時理事会
	30	第三者委員への苦情報告会
7	13	社会福祉法人監査
	29	長寿の郷夏まつり
8	5	長寿の森夏まつり
9	21	新卒採用試験
	22	長寿の森敬老会
	23	長寿の郷敬老会
10	6	第5回臨時理事会
	8	長寿の郷家族会清掃活動
	10	臨時評議員会
11	17～19	遠野しごと展出展
令和6年		概 況
1	4	仕事始め式、新春祈祷
3	22	定例理事会

6 令和5年度寄付者御芳名（法人・施設受付分）

【個人】

遠野長寿の郷

12月13日 遠野市 匿名 現金 100,000円

12月14日 遠野市 中田文人 様 現金 50,000円

長寿庵

11月27日 神奈川県 梅津道夫 様 現金 700,000円

【3】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）

1 実践目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・安心・安全・快適な介護サービスの提供・数値目標 96%以上（年間収入目標 471,200,00円以上） |
|---|

2 実践目標の達成状況及び成果

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行して季節性インフルエンザと同じ部類になりました。感染症の分類は移行しましたが、季節性とは違い、年中感染症の危険があり、油断できませんでした。その中でも、長期入所されている利用者の方が、良い暮らしができるように、快適な介護サービスが提供できるように、多職種連携で情報共有を行い、安心して生活してもらえるように、「安心・安全・快適な介護サービスの提供」としました。

レク委員会では2ヶ月に一度、敷地内の散歩やカラオケ大会、餅つき大会などを企画しました。

栄養部門では、利用者の経口状態に合わせて食事形態を変更しました。季節にあわせて、行事食を提供して、食事を楽しみました。またレク委員会と給食委員会と合同で、9月にはさんま焼きを行いました。小ぶりのさんまでしたが、美味しいそうに食べていました。

看護部門では、県立遠野病院の院長先生が変わり、看取り介護の在り方や体調不良時などの診療について再度協議を行い、受診や入院などをスムーズに行えるようになりました。

リハビリ部門では、利用者や家族のニーズに添えるように、個別訓練や集団訓練を組み合わせ、心身機能の維持向上のリハビリと楽しみを提供しました。

施設介護支援専門員は、利用者や家族の意向を汲み取り、施設サービス計画書を作成しました。スピーディーな入所調整については、新型コロナウイルス感染症の発生や急な退所もあり、スムーズに行うことができないこともありました。

生活相談員は、入所相談を行う中で、急な体調不良で入院により在宅での介護が困難なケースがあるものの、すぐには長期入所できないことがあり、他の介護サービスを利用することを説明しながら、より一層、特別養護老人ホームの必要性を感じました。

面会については、家族からの意向もあり、地域交流センターでの面会の他、居室での月1回の面会を実施することができました。来年度は、スマートフォンなど持っていない家族や操作が難しい家族に対して、施設に来所して頂ければ、地域交流センターとユニット間でオンライン面会ができるように充実を図りたいです。

令和5年度の長期入所の年間平均ベッド稼働率は、95,42%でした、上半期は96%を超えることがありましたが、下半期は長期入院や新型コロナウイルス感染症の発生もあり、ベッド稼働率の低下や入所調整がスムーズにいかなかったことがあげられます。

3 運営状況

(1) 月別入退所状況 (令和5年4月～令和6年3月)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
入 所	男	0	1	0	1	0	1	0	4	1	0	0	0	8
	女	3	1	0	0	0	5	1	4	2	4	1	3	24
退 所	男	2	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	7
	女	2	1	0	1	2	3	3	2	5	0	3	1	23
月末契約者数		99	100	100	100	98	100	97	99	97	100	98	100	

(2) 退所理由 (令和5年4月～令和6年3月)

	家 族 引取り	死 亡			入院継続	その他	合 計
		施設看取り	入院中	自宅			
男	0	5	1	0	0	1	7
女	0	9	11	0	0	3	23
合 計	0	14	12	0	0	4	30

(3) 利用者の年齢状況 (令和6年3月末現在)

年齢 性別	60	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90	合 計	平 均 年 齢
	未満	64	69	74	79	84	89	以上		
男	0	0	1	3	7	3	9	5	28	83
女	0	1	0	2	5	10	19	36	73	88
合 計	0	1	1	5	12	13	28	41	101	87

(4) 在所期間状況 (令和6年3月末現在)

期間 性別	0年以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	合 計
	男	9	8	3	7	
女	23	22	12	14	2	73
合 計	32	30	15	21	3	101

※ 平均入所期間 男性 1,203日 女性 1,209日 施設平均 1,207日

(5) 要介護度別利用状況 (在所者状況)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	実人員	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	33
	延べ人数	60	62	60	62	62	60	62	90	124	124	116	124	1006
要介護 3	実人員	23	24	23	22	22	23	22	25	20	21	21	21	267
	延べ人数	690	720	690	682	682	663	682	666	620	643	585	633	7956

要介護 4	実人員	39	37	37	36	35	39	38	39	43	44	44	44	475
	延べ人数	1078	1147	1110	1116	1080	1047	1134	1112	1287	1328	1224	1356	14014
要介護 5	実人員	39	38	38	41	41	40	39	37	35	32	32	32	444
	延べ人数	1139	1166	1140	1231	1269	1181	1177	1036	1000	958	915	960	13177
合計	実人員	103	101	100	101	100	104	101	104	102	101	101	101	1219
	延べ人数	2967	3095	3000	3091	3093	2951	3055	2904	3031	3040	2840	3073	36153
1日平均利用者数		98.9	99.8	100	99.7	99.7	98.3	98.5	96.8	97.7	98	97	99.2	

(6) 介護保険負担限度額認定証交付状況（令和6年3月末現在）

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
男	2	4	8	4	10
女	1	26	9	18	19
合計	3	30	17	22	29

(7) 施設入所待機者の状況（令和6年3月末現在）

申し込み受付時の状況	人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明
自宅等で介護中	52	2	7	7	18	8	0
老人保健施設に入所中	41	3	3	3	9	8	0
病院に入院中	57	2	2	2	16	12	0
GH・養護ホーム等	57	1	8	8	24	8	0
その他	11	1	2	2	2	3	0
合計	218	9	22	22	69	39	0

4 利用者の事故とその対応について（長寿の郷拠点全体）

(1) 事故発生状況（令和5年4月～令和6年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	8	20	11	14	20	10	10	7	11	12	9	14	146
異食	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
誤薬	1	1	2	2	2	1	1	0	1	8	4	2	25
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	9	15	21	21	29	15	15	7	20	27	12	22	213
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
合計	18	36	35	37	52	26	26	14	32	48	26	38	388

(2) 事故への対応

県や保険者に報告した大きな事故は、5件でした。内容は、介助方法のミスによる骨折が2件、自力操作できる車椅子からの転倒が1件、ソファからの転落が1件でした。

法人としてはリスクマネジメント委員会を毎月開催して、介護事故の集計や内容の把握などを行い、介護事故削減に向け取り組みを行っています。事故が発生した際は、早急な受診と家族への報告を行うと共に、各ユニット単位で事故の原因や予防策を検討しています。

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和5年6月19日（月曜日）
苦情の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの内容に関わる事項（リハビリ職員の増員）について ①褥瘡ができた様だが、この様な施設は褥瘡ができないと福祉の里の職員が言っていた。 ②リハビリの回数を増やしてほしい。リハビリ職員を増やして、入所者の軽度・中度・重度あるから、軽度の方のリハビリはやらないで、重度の方のみたくさんやってほしいとの内容。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族（夫）の話を施設ケアマネが伺う。 ①ご本人の現状報告を行う。 ②リハビリ職員1名で100名の利用者をみているため、重度の方のみを多くみることはできないこと、ケアプランの評価を行う際、施設長や多職種で会議を行っている為、その場で検討することを伝える。 ・説明不足を謝罪して理解を頂く。

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
男性。70代。 経鼻経管栄養の方。	ミトン型手袋使用。	経管チューブの自己抜去が続いた為、指針に則り、手続きを踏み開始。 本人用のクッション購入。クッションの使用方法等の工夫。手の動きの減少にて、指針に則り、ミトン解除。
女性。80代。 経鼻経管栄養の方。	ミトン型手袋使用。	R5年3月、病院から退院長期入所。入所後、数回の自己抜去もあり、指針に則り、手続きを行い開始。

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿の郷拠点全体）

月 日	内 容
4月7日	ボイラー（No2）の修理
5月12日	スプリンクラーポンプ修理
6月5日	受水槽天板のFRPライニング塗装
9月5日	ナースコールボード型親機他一式

9月19日	排煙濃度計の交換
10月10日	Wi-Fi 環境整備
10月10日	介護記録・請求ソフト（ケアカルテ）の追加導入
10月11日	見守りシステム等導入
11月22日	自家発非常用バッテリー交換
11月22日	伝送ユニット交換、照明器具修理
12月14日	ランドリー用回転式乾燥機更新
3月	デイ長寿園 浴室内シャワー部分へ手すり設置（2か所）

8 行事实施状況

月 日	内 容	参加人数
7月29日	遠野長寿の郷夏まつり	家族30名
9月23日	敬老会	家族13名
1月15日	小正月	名

9 会議・研修実施状況（長寿の郷拠点全体）

（1）会議実施状況

会 議 内 容	回数
法人全体会議	3回
主任者会議	12回
多職種連携会議	10回
リスクマネジメント委員会	12回

（2）施設内研修実施状況

月 日	研 修 内 容	参加人数
4月4日～	令和四・五年度採用者兼中途採用者研修（2日間）	5名
5月10日～	令和5年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	6名
6月1日～	認知症介護基礎研修（オンライン）	5名
6月21日	身体拘束の防止及び廃止について（リスクマネジメント）	22名
6月25日	バーセルインデックス評価研修（オンライン）	2名
6月27日	令和5年度地域包括・在宅介護支援センターフォーラム 虐待・権利擁護研修	1名
7月26日	令和5年度岩手中部圏域感染症対策研修会（オンライン）	7名
9月4日～	リスクマネジメント研修（KYTの実践）4回	60名
10月4日	年金情報サービス説明会（オンライン）	1名
10月6日	オムツの当て方研修	11名
11月7日～	リスクマネジメント研修（アンガーマネジメント）4回	66名

12月20日～	リスクマネジメント研修（身体拘束）2回	34名
12月22日	令和5年度リスクマネジメント研修会（オンライン）	1名
R6.1月12日	令和5年度リスクマネジメント研修会（オンライン）	1名
1月11日～	リスクマネジメント研修（不適切ケア）4回	60名
2月9日	看取り介護実践事例研修	18名
3月4日	高齢者福祉事業経営セミナー	8名
3月25日	『高齢者に必要なACPとは？』（オンライン）	2名

(3) 施設外研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
4月6日～	新入社員研修（2日間）	1名
4月19日～	人事人材開発塾（計6日間）	1名
5月19日～	マネージャー研修（計14日間）	1名
6月16日	遠野市相談支援関係職員等スキルアップ研修会	2名
7月4日～	次期リーダー育成研修（計8日間）	2名
7月5日～	令和5年度岩手県介護職員等医療的ケア研修	2名
7月24日	令和5年度釜石地域福祉サービス苦情解決情報交換会	2名
7月29日	「感染管理に係るリンクナース育成事業」	1名
9月4日	社会福祉法人経営サポートセミナー	1名
9月5日～	ユニットリーダー研修（実地研修）	2名
9月10日	事例検討会プログラム	3名
9月27日	ビジネスセミナー	1名
10月5日	わかる・伝わる文書の秘訣～「6W5H1R」で伝わる書き方～	7名
10月5日	モチベーションマネジメント研修	3名
10月6日～	介護資格取得講習（初任者研修）	1名
11月30日	外国人技能実習制度 養成講習	1名
12月12日	福祉人材定着支援セミナー研修会	1名
R6.1月24日	都道府県経営協セミナー	1名
2月3日	令和5年度胆江地区介護支援専門員連絡協議会研修会	2名
3月21日	遠野市相談支援関係職員等スキルアップ研修会	1名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿の郷拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
6月5日～	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	介護実習Ⅱ-第2段階	2名
11月16日～	専修大学北上福祉教育専門学校	介護実習ⅠC	1名
11月13日 ～22日	岩手県立大学社会福祉学部 熊谷颯真	社会福祉士取得のための 施設実習	1名

11 防災訓練等実施（長寿の郷拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回 数
新任職員	防災研修	施設内消防設備と防災マニュアルの確認（1回目）	2名
職員	消防訓練	職員による夜間想定避難訓練（複数回）	39名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	26名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	26名
防災担当者	消防訓練研修	令和5年度モデル事業所防災訓練研修会参加	2名
職員・利用者	総合防災避難訓練	消防立会いによる夜間想定避難訓練・消火訓練	33名
職員	参集訓練	LINE WORKS と緊急連絡網の試行・参集、非常食試食	37名
担当職員	危険物研修	危険物取扱の日本オイルターミナル(株)視察研修	1名
職員	普通救命講習Ⅱ	心配蘇生法・異物の除去・止血・AED・試験（複数回）	19名
担当職員	設備等取扱研修	消火器初期消火訓練・煙体験・救助袋体験	1名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	26名
新任職員	防災研修	施設内消防設備と防災マニュアルの確認（2回目）	2名

12 ボランティアの状況（長寿の郷拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
月 日	なし		名

【4】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）

1 実践目標

1. 利用者が楽しみを持ち、快適に過ごすことができる。
2. 職員が助け合いながら、互いに成長できる環境作り。
3. 数値目標 稼働率 94% 月間収入目標 7,207,565 円 年間収入目標 86,490,778 円

2 実践目標の達成状況及び成果

1. 利用者が楽しみを持ち、快適に過ごすことができる。
毎月の懇談会が実施できず、利用者の意見・要望を汲み取ることができなかった。
満足度調査を実施し、挙がった内容をもとに来年度の事業計画の参考にした。
毎月の行事は実施できていたが（8月の行事はコロナに罹った利用者がいたので実施せず）、職員減少のため毎日のレク活動の時間が持てず、実施できなかった。短時間でも取り組めるレク内容を検討する。職員間のレク活動の優先順位が低い。
整容についての苦情もあり、日々の意識付けを行ない定着してきている。
事故報告の検討を3日以内にできなかった。朝・昼のミーティング後に検討するなどの工夫が必要。
2. 職員が助け合いながら、互いに成長できる環境作り。
茅町会議内で勉強会を実施した。（5テーマ）
勉強会を実施しているが、職員の意識・技術が統一できていない。
物品チェックの廃止やオムツ交換の時間の見直しを行い、業務のスリム化をした。
物品の返し忘れ、多床室利用者の口腔ケアセットの混同などのトラブルがあるため、退所の際にはダブルチェックをするなどの対策が必要。
職員数が十分でない日もあったが、勤務している職員で臨機応変に対応できた。
3. 数値目標
稼働率は上がっているが、目標には到達していない月も多い。
年間の目標稼働率 94%に対し、91.4%だった。
緊急利用にも積極的に対応できている。
稼働率や収入は上がってきている。
職員体制に対して、利用者の人数が適切か。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援 1	実人員	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5	0.4
	延べ人員	0	13	0	5	6	0	0	0	0	0	0	5	29	2.4
要支援 2	実人員	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.16
	延べ人員	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	0	0	7	0.6
要介護 1	実人員	12	13	14	16	15	12	11	14	14	13	12	13	159	13.2
	延べ人員	126	143	146	129	138	119	102	125	126	133	98	112	1495	124.6
要介護 2	実人員	17	17	16	20	17	16	13	11	12	16	12	13	180	15
	延べ人員	88	113	116	138	144	153	122	75	122	144	117	145	1477	123.1
要介護 3	実人員	15	17	19	21	19	18	18	20	15	14	19	17	212	17.7
	延べ人員	152	212	231	228	219	204	228	251	185	188	228	226	2554	212.8
要介護 4	実人員	11	10	10	9	11	11	11	12	13	12	10	9	129	10.8
	延べ人員	125	126	143	143	133	102	138	110	123	124	80	76	1423	118.6
要介護 5	実人員	5	3	4	4	6	6	8	7	7	8	8	8	74	6.2
	延べ人員	52	16	27	29	42	56	74	91	87	74	82	81	711	59.2
合計	実人員	60	62	64	71	69	63	61	64	62	63	61	61	761	63.4
	延べ人員	543	623	666	672	682	634	664	652	647	663	605	645	7696	641.3
平均利用者数/日		18.1	20.1	22.2	21.7	22.0	21.1	21.4	21.7	20.9	21.3	20.8	20.8	-	21.0
稼働率 (%)		78.7	87.4	96.5	94.2	95.6	91.9	93.1	94.5	90.7	93.0	90.7	90.4	-	91.4

(2) 介護保険負担限度額認定証交付状況 (令和6年3月末現在)

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型個室	0	1	0	1	10
多床室	0	2	1	0	3
合計	0	3	1	1	13

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和5年4月17日
苦情の内容	利用者 A さんの担当ケアマネから、「本人が『もう長寿の郷には行きたくない』と話しているようです。納得しないまま泊りにいったのもあるようだが、職員の介助にも不満があるようです」と話がある。 ご自宅に行き A さんから話を伺うと、「初めて泊りに行ったが乱暴に扱われた。人じゃなく、物を扱うようだった。トイレに行くときも、自分は腰が痛くて動くのも大変なのに、職員の都合で無理矢理に動かされた。また、目が見えにくいので急に車椅子を動かされたりしても大変だ」と話される。

対 応	<p>職員の対応で不快な想いをさせたことについてAさんと家族へ謝罪する。介護職員にも、今回の内容を伝えて対応の仕方について改めるように伝える事を話す。</p> <p>また、良かった職員もいるとのことだったので、その職員の対応方法を他の職員にも教えるようにすることを話す。</p>
-----	---

受付月日	令和5年8月24日
苦情の内容	<p>利用者 B さんの担当ケアマネから、「昨日、面談に来たとき B さんのヒゲがかなり伸びたままになっていました。娘さんも来ていて『ちょっと、あれは・・・』と不快感を示していました。髭剃りなど整容は、しっかりしてほしい」と話がある。</p> <p>娘さんへ謝罪のため電話すると「あれは本当にビックリしました。」と話がある。</p>
対 応	<p>当日のうちに、今後の対応策を検討し、『昼食後に整容の時間を設ける。難しい日は職員間で声を掛け合い、夕方に行なう』こととした。</p> <p>娘さんへ電話で謝罪し、対応策を報告する。</p>

受付月日	令和5年9月18日
苦情の内容	<p>利用者 C さん担当ケアマネと同事業所の職員から「C さんの事でヘルパーから電話がありました。『訪問に行った際に、15 日の朝に洗顔タオルの渡し方が悪かった。その際に足を小突かれて痛くした。』との事でした。今朝、C さんからも担当ケアマネ宛てに電話があったが、今日は不在な事を伝えたら、明日また連絡するとの事だった。」と報告がある。</p> <p>翌日に自宅へ訪問し不快な想いをさせた事へ謝罪する。苦情の件について、どのような職員の対応だったのかを聞くと「15 日の朝で職員 D さんだった。まだ起きるには早いと思って寝ていたら、顔拭きタオルを渡すときに熱いタオルを投げられた。今回ばかりではなく、あの人の時はいつもだ。最初は、ふざけてやっていると思っていたけど、おもいきり投げられるから違うんだと思った。私ばかりではなく他の人にもだっけ。それとタオルを持って来た時にベッドから足を出していたから、その足を叩かれたから痛い。E さん（他利用者）には、掌を出させて、その手を持って自分の顔を叩かせている事があった。」と話がある。</p> <p>投げるのは下から軽く投げたのかを聞くと、上から投げる素振りを見せて「こうやっておもいきり投げるっけ。」と話された。</p>
対 応	<p>苦情についての内容を確認し、職員Dには対応を改めるように伝える事を話す。</p> <p>施設長、職員D、苦情受付担当の3名で状況の確認をし、「洗顔タオルを渡しに行ったら寝ていたので、『ここに置いとくよ』と言い、テーブルに置いてきた。直接手渡す等して、ちゃんと声をかければ良かったです。投げたりはしてないし、足を蹴ったりもしてないです。これからは、寝ているなら声掛けしたり、ちゃんと手渡すなどします」と話があった。</p> <p>利用者と職員で話の内容が食い違ったが、Cさんへは改めて謝罪と今</p>

	後の対応を報告する。また、主介護者になる長男妻（別居）へも報告と謝罪のため電話する。
--	--

受付月日	令和5年9月22日
苦情の内容	利用者 G さんの妻から長寿の郷へ電話があり「前回の利用時にオムツ（たぶんリハビリパンツ）の交換を『自分でやれ』と言われて、投げられたと本人が言っていた。そういう事はやめてほしい。体が不自由なので出来ない事も多いが、ちゃんと手伝ってほしい」と話がある。
対 応	9/22電話で申出人へ謝罪する。また、苦情受付日からショートステイ利用だったので、本人へも謝罪し、状況の聞き取りを行なう。内容を介護職員へ伝えて、対応を改めるように話す。 9/25自宅へ訪問し、申出人へも改めて謝罪する。

受付月日	令和6年2月8日
苦情の内容	ショートステイ退所送迎後に G さんの娘さんから電話ある。 「ずっとお部屋で過ごしていたとのことだが、どういうことか？傾眠でも生活のメリハリのため起こしてほしいと伝えたはずだ。また、利用中の移乗はなぜバスタオル移乗をしていたのか？バスタオル移乗は家では不可能ですよ。骨折をしているからとって、刺激をかけないとレベルが下がる。ショートステイは病院でもないし、良くするところではないことは分かっているが、レベルが低下するようなことはあってはならないと思う。今帰ってきてコーヒーを飲ませようとコップを持たせたが、口まで腕が上がらなかった。手をかけてもらっていないようで、見えないところが見えた気がした。また、荷物を開けてさらにガッカリしたのが、H さん（他利用者）って方のヘアブラシが入っていたんです。しかも歯ブラシと一緒に歯磨きコップに刺さって一緒に入っていたんです。絶望した。そんなこと自分だったり親にしますか？しかも他人のブラシですよ。どういう考えでそんなことをしたのか分からない」と話がある。
対 応	ご要望に沿った対応が出来なかったこと、衛生的にも問題のある対応した事について謝罪する。どういった経緯で他人のヘアブラシが入ったのかなど説明する。 また、今後の介助方法についても検討した。

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
82 歳 女性 要介護度 5	つなぎ服	陰部を強く搔く事、汚染して不衛生な事があり、自宅では代替えがなく、つなぎ服を利用している。
73 歳 女性	つなぎ服	衣類を脱ぐ行為が頻回にあり、在宅でもつなぎ服を着用している。健康面での影響、着替え介

要介護度 5		助に掛かる時間が多く、他利用者への影響を考 えて、つなぎ服を使用した。状態の変化や身体 的な危険が見られない事もあり、指針に基づき 身体拘束は解除した。
73 歳 女性 要介護度 5	リクライニングチェ アのベルト	車椅子上で姿勢が崩れたり、テーブルに足を乗 せ体を突っ張る行為が頻回にあり転落・転倒が 続いていた。椅子やチルト式車椅子に変更して も、同様に転倒等の危険行為が続く。 ケガ防止の対策として、指針に基づいてベルト 付きのリクライニング車椅子を使用している。

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事实施状況

月 日	内 容	参加人数
5 月 1 日	バルーンバリボー&職員紹介	9 名
5 月 2 日	レク委員会と合同散歩	7 名
5 月 13 日	新緑ドライブへ行こう！	8 名
6 月 7 日	みんなで体を動かそう	13 名
7 月 29 日	夏祭りなので、クリームソーダで乾杯しよう	20 名
9 月 27 日	ビンゴ大会	21 名
10 月 25 日	茅町なんちゃって相撲観戦 茅町の主役は俺だ	11 名
11 月 18 日	重端溪ドライブ	7 名
12 月 19 日	クリスマスツリープリンを作ろう	18 名
1 月 26 日	新春！紅白玉入れ合戦	10 名
2 月 27 日	遅めのバレンタインチョコフォンデュを楽しもう！	18 名

【5】老人デイサービスセンター長寿園

1 実践目標

1. みんなの元気が出るデイサービス

2. 年間稼働率 85%以上

数値目標 年間収入 60,756,000 円以上（月間 5,063,000 円以上）

2 実践目標の達成状況及び成果

今年度は、年間平均利用稼働率 85%以上、年間事業収入目標 60,756,000 円以上とした。結果、利用稼働率は 83.2%、年間事業収入は 55,704,240 円と数値目標に対し 5,051,760 円減で稼働率、収入ともに目標達成できなかった。

稼働率については、ショートステイ利用者の増や入院、死亡者が多く振替利用などの利用調整ができなかった。しかし、新規問い合わせや社協デイの営業日変更による受け入れ増があり実人数の大きな落ち込みは抑えられた。事業収入については、新型コロナウイルスの蔓延（クラスター）もあり稼働日減が影響し、事業収入の減にも繋がった。

新型コロナウイルスが 5 類へ移行したことにより、最低限の感染対策のもと地域に出られたことや行事の内容も充実できた。また、各テーブルのパーテーションを撤去したことで利用者様同士の交流機会も確保でき、利用者様の居場所づくりができた。

しかし、苦情も 3 件と事業所として利用者、家族様からの信頼の回復に努めていかなければいけない。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援1	実人員	9	9	11	11	10	10	7	9	10	10	7	7	99	-
	延べ人員	37	48	39	45	46	38	35	37	40	38	28	32	463	-
要支援2	実人員	12	9	9	12	13	9	10	10	10	10	9	7	120	-
	延べ人員	49	42	40	52	53	40	43	40	43	32	28	29	491	-
要介護1	実人員	45	44	41	37	27	29	35	36	35	33	35	40	437	-
	延べ人員	187	185	172	138	116	132	145	161	140	128	117	168	1789	-
要介護2	実人員	36	34	32	39	37	34	38	44	45	42	45	34	460	-
	延べ人員	142	135	144	155	153	158	164	176	181	170	148	155	1715	-
要介護3	実人員	16	15	14	19	19	19	21	21	23	22	16	22	227	-
	延べ人員	64	66	55	73	81	83	91	83	91	78	64	96	925	-
要介護4	実人員	16	15	16	17	15	13	14	13	14	14	12	16	175	-
	延べ人員	61	67	67	56	60	58	60	53	47	47	38	69	683	-
要介護5	実人員	7	7	7	6	1	1	2	0	1	3	2	4	41	-
	延べ人員	26	29	28	25	9	8	7	0	4	9	8	16	169	-
合計	実人員	141	133	130	141	121	115	127	133	138	134	126	130	1569	-
	延べ人員	566	572	545	544	520	517	545	550	546	502	431	565	6403	-
平均利用者数/日		25	27	26	27	27	26	27	26	25	24	21	26	307	25.6
稼働率(%)		90.1	84.7	83.8	80.6	77.0	80.1	81.1	84.6	84.0	83.7	82.1	87.0	998.8	83.2

※要支援1に事業対象者を含んでいます。

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和5年9月7日
苦情の内容	コロナウイルス発生に関わるご家族様への報告の遅れ
対応	発症が確認された際には、早急に電話での報告をする。

受付月日	令和6年1月24日
苦情の内容	ご家族様にケアに関わる内容への職員の説明の仕方、態度
対応	説明する際の言葉遣いや態度を改める。

受付月日	令和6年3月5日
苦情の内容	落雪が当たる事故の報告の遅れ
対応	事故が発生した際には、早急に電話での報告をする。 落雪状況を確認し、送迎車を安全な位置に配置する。

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事実施状況

月 日	内 容	参加人数
4月	職員紹介・カラオケ・脳トレ・ゲーム運動・ドライブ DVD鑑賞・作品作り	-名
5月	DVD鑑賞・ゲーム運動・座談会脳トレ・春の大運動会 作品作り・ドライブ	-名
6月	作品作り・ゲーム運動・ドライブ・おやつ作り・お楽しみ会 脳トレ・カラオケ	-名
7月	買い物・作品作り・ゲーム体操・お楽しみ会・おやつ作り ドライブ・脳トレ・カラオケ	-名
8月	カラオケ・作品作り・脳トレ・ドライブ・運動・認知症体操 お楽しみ会・DVD鑑賞	-名
9月	DVD鑑賞・ドライブ・お楽しみ会・ゲーム・作品作り ・おやつ作り・座談会・脳トレ	-名
10月	ゲーム・作品作り・おやつ作り・買い物・ドライブ・脳トレ	-名
11月	ドライブ・作品作り・お楽しみ会・脳トレ・おやつ作り ゲーム運動・DVD鑑賞	-名
12月	DVD鑑賞・脳トレ・ドライブ・作品作り・忘年会 クリスマス・ゆったり	-名
1月	初詣・ゲーム運動・脳トレ・新年会・おやつ作り・作品作り カラオケ	-名
2月	節分行事・脳トレ・作品作り・おやつ作り・ゲーム運動 DVD鑑賞	-名
3月	DVD鑑賞・お雛様行事・脳トレ・ゲーム運動・おやつ作り	-名

【6】居宅介護サポートセンター長寿園

1 実践目標

1. ケアマネジメントの質を高める。
 2. 業務の効率化と業務管理体制の強化。
 3. チームとしての支援体制向上。
- 数値目標 年間収入目標 18,000,000 円以上（月平均：15,000,000 円以上）

2 実践目標の達成状況及び成果

特定事業所加算（Ⅲ）を算定するようになり3年が経過。12月から主任介護支援専門員が3名となった。週1回の定期伝達会議を実施し担当ケースについてケアマネが抱える課題を検討、共有してきた。一人暮らしや高齢世帯で頻回な支援が予測されるケースについて同行訪問を実施し、ケースの共有を図った。同行訪問を実施した結果、担当ケアマネジャーが不在であっても、事業所として緊急対応やサービス事業所との連携を図ることができた。他には、市内の特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所で組織された「ケアマネジメント推進委員会」のメンバーとして、定期研修の企画や遠野市の課題検討、情報交換等の機会が多くあり、他法人のケアマネジャーと顔を合わせることで、刺激を受けることとなった。このことにより、担当ケースを通じての社会資源を取り入れたケアプラン作成や丸ごと相談員（生活支援コーディネーター）との連携を意識するようなマネジメントが行えるようになってきた。

業務の効率化については、4半期ごとに互いの記録や訪問状況を確認し、法令順守されていることを確認した。昨年に比べて入院時連携が頻回に行われていた。早期退院を目標に、自宅での生活状況についての情報を中部ネットを通じて医療関係者に情報提供。後日、病棟訪問にて入院生活状況を確認し退院に備えることができた。また、通院時に同行することが増えたことで、多忙な年であったとは思いますが、医師との連携が図れ、相談しやすい関係性となれたことの方が大きい。電子機器を活用した業務については、利用者の自宅でテザリング機能を利用して、ケアプランの修正や記録の見直し、隙間時間に記録入力を想定していたが、起動時間が長いことなどから写真機能を主に使用するだけとなってしまった。令和6年度介護報酬改定では、テレビ電話等でのモニタリング、担当者会議が認められたので、電子機器の活用は積極的に行っていかなければならないと思っている。

ケアプラン作成件数は（介護給付費、予防給付費）月平均 105 件と前年度月平均の 117 件と比べ 12 件減。介護度別でみると要支援 1・2 が 301 件、要介護 1・2 が 783 件、要介護 3・4・5 が 335 件と例年並みであった。月平均給付件数については 92 件と目標件数を達成できなかったが、収入目標は達成することができた。

3 運営状況

(1) 利用者の状況

利用登録者の要介護度件数（令和6年3月31日現在） (件)

介護度	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件数	1	12	15	36	28	13	11	3	119

(2) 要介護度別給付管理状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均

居宅介護 支援費	152	147	151	134	139	142	133	151	129	129	130	131	1,668	139
要介護1	35	38	39	35	33	33	32	32	33	32	30	35	407	33.9
要介護2	36	37	36	33	32	32	30	28	27	28	29	28	376	31.3
要介護3	9	9	10	8	12	13	11	16	11	12	13	12	136	11.3
要介護4	14	12	12	11	13	13	12	14	11	11	10	10	143	11.9
要介護5	7	5	5	4	4	4	4	8	4	4	4	3	56	4.6

(3) 介護予防受託状況 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	25	25	24	23	25	25	21	25	25	28	26	26	298	24.8
非該当	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
要支援1	10	10	11	10	11	10	8	8	8	10	10	10	116	9.6
要支援2	14	14	12	12	13	14	12	16	16	17	15	15	170	14.1

(4) 認定調査受託状況 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	4	4	5	2	5	8	6	3	8	11	7	5	68	5.6

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対応	

5 施設外研修・会議状況

月 日	研修内容	参加人数
5月12日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：とおぬっふ） 「遠野市重層支援体制事業と丸ごと相談員についてと連携について」	3名
6月16日	遠野市相談支援関係職員等スキルアップ研修会 「アセスメント力を高めよう～ひきだす力・予測する力・つなげる力」講師：菊池浩之氏	1名
6月27日	地域包括・在宅介護支援センターフォーラム 「虐待・権利擁護研修」（オンラインにて）	1名
7月13日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：かなえ） 「遠野市の認知症施策について」	2名
7月24日	釜石地域福祉サービス 苦情解決情報交換会	1名
8月～12月	岩手県介護支援専門員主任研修	1名

9月25日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：居宅上郷） 「医療連携における介護支援職もインの役割について」 ～未来かなえ訪問看護ステーションすみちゃんの実践～	3名
10月5日	わかる・伝わる文章の勘所 講師：高室茂幸氏	2名
11月13日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：居宅とおの） ① 「包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に係る【地域 ケア会議】について」 ② 「事例検討会（グループワーク）」	3名
11月15日	大槌町介護支援専門員等研修会（主催：大槌町包括） 「みんなで考える事例検討会」	2名
1月19日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：長寿園） 「生活困窮者への支援について」	3名
2月26日	東エリア地域ケア会議（主催事業所：長寿園、上郷、包括） 「遠野市東エリアを管轄する居宅介護支援事業所と丸ごと宗田 人との情報交換会」～地域課題の共有・サポートの仕組みづく りへむけて～	3名
3月7日	ケアマネジメント推進委員会（主催事業所：居宅みやもり） ① 「期間相談支援の紹介」 ② 「ちょこっとしたボランティア」	2名
3月15日	令和5年度 丸ごと相談員（生活支援コーディネーター） 事業報告会	1名

【7】生活支援ハウス長寿園

1 実践目標

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 家庭的な雰囲気を保ち、利用者が在宅での生活をそのまま継続できるように努める。2. 入所受け入れの際は遠野市と連携を密にし、利用率の向上に努める。3. 数値目標 年間収入目標（受託予算） 9,900,000円 |
|--|

2 実践目標の達成状況及び成果

今年度も例年と同様に、冬季間に凍結や積雪により在宅生活が一時的に困難になる方で12月頃から3月頃まで利用が多く、4月～11月頃には計画的な申し込みが少なく、緊急的に利用される方がいる傾向でした。冬期間も当初は満床の予定でしたが、キャンセルが数人続いたため満床にはなりませんでした。

冬期間以外の内容としては、退院後やケガにより在宅復帰に向けての練習期間、もしくは在宅生活に向けた環境整備の準備期間などがありました。また、家庭内トラブルにより、生活が困難になった方の居住場所の準備期間もありました。

生活支援ハウス入所中に体調を崩し入院となった方が数名おりましたが、近くに身寄りがない方も多く、遠野市などと連携を取りながら早期の受診に繋がれたと思います。

数値目標に対しては11,283,493円と達成しています。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
自立	実人員	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2	2	9	0.75
	延べ人員	0	0	4	0	0	0	0	0	35	62	58	30	189	15.8
要支援 1・2	実人員	1	1	2	1	0	1	1	2	5	5	5	5	29	2.4
	延べ人員	30	31	19	3	0	1	31	38	131	155	144	87	670	55.8
要介護 1	実人員	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	10	0.83
	延べ人員	30	17	0	0	0	0	0	0	62	62	58	62	291	24.3
要介護 2	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	実人員	2	2	3	1	0	1	1	2	9	9	9	9	48	4
	延べ人員	60	48	23	3	0	1	31	38	228	279	260	179	1150	95.8
平均利用者数/日		2	1.5	0.7	0.1	0	0.03	1	1.2	7.3	9	8.9	5.7	3.14	
稼働率 (%)		20	15	7	1	0	0.3	10	12	73	90	89	57	31.4	

(2) 利用者の世帯構成

	独居	夫婦のみ	その他	合計
男	7	1	0	8
女	6	0	0	6
合計	14	0	0	14

【8】養護老人ホーム長寿の森 吉祥園

1 実践目標

1. 利用者が安心・快適に暮らせるように生活を支える。

2. 地域に必要とされる施設作り

数値目標 1日付措置率 100% 稼働率 98%

月間収入目標 11,051,750円以上（措置費＋特定基本分）

年間収入目標 132,621,000円以上（措置費＋特定基本分）

2 実践目標の達成状況及び成果

「利用者が安心・快適に暮らせるように生活を支える」の目標に対しては、身体拘束担当が中心となり、年3回の虐待の芽チェックリストの自己評価を行ない、自己評価することで見えた自分の課題に対して目標を設定し取り組み評価を行なった。目標を設定し取り組んだことで、言葉遣いや態度がきつくなならないように意識しながら対応することができたと評価する職員が多かったが、他者評価ではまだまだ不快に感じる対応があるとの評価で、自己評価と他者評価にはギャップがあった。施設全体の雰囲気としては、現在もきつい言葉が聞かれ課題が残る。

利用者が持っている能力を引き出し、活動的に生活が送れるよう、行事は年7回、各丁お楽しみ会は年6回、クラブ活動は毎月実施した。特に行事は、利用者に見せる行事ばかり実施してきたが、今年度は利用者参加型の内容にするよう意識し、利用者自らが行事を盛り上げる一員となるように司会や挨拶、踊りなどを行なっていただいた。やっってもらうことが当たり前になっている利用者が多いので、今後ともご本人が持っている能力を引き出し、役割を持って生活が送れるよう支援していきたい。

業務の効率化に関しては、安全担当が中心となり事故防止対策の一環で、服薬状況の見える化・ベッドの高さの見える化などを行なった。可視化することで作業効率をよくすることができた。

「地域に必要とされる施設作り」の目標に対しては、定期的に青笹町の民児協に出席し、吉祥園の近況を伝え、民生委員や関係機関の方々から、青笹・上郷地区の高齢者の状況や今抱えている問題などの情報を提供していただいている。今年度は、コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、上郷保育園と青笹保育園の子供たちに敬老会・クリスマス忘年会に参加してもらい、行事を盛り上げていただいた。利用者も子供たちのお遊戯をみて、いつもより表情がよくとても楽しそうな様子が見られた。これから少しずつ利用者と地域の方との交流を増やしていきたい。

数値目標は、1日措置率 100%・稼働率 98%に対して、1日措置率 100%・稼働率 98.75%と達成し、収入に関しては、年間収入目標 132,621,000円に対して、133,253,445円と達成できた。

3-1 養護老人ホームの運営状況

(1) 長期入所者状況 (定員 50 名)

項目	数
各月 1 日付け平均入所者数	50 人
年平均稼働率	100%
1 日平均利用者数	49.37 人
年平均稼働率	98.75%
延べ利用人数	18,072 人

※ 1 日平均利用者数は、入院者及び措置解除者数を減じた数

(2) 短期入所者状況 (定員 2 名)

項目	数
一日平均利用人数	0.33 人
延べ利用人数	123 人
年平均稼働率	16.8%

(3) 年度別入退所者数 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

入所者数			退所者数			退所者数内訳
男	女	計	男	女	計	死亡退所 4 人 長期入所 2 人
4	3	7	0	6	6	

(4) 月別入退所状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
入 所	男	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
退 所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	6
月初 (1 日) 入所者数		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

(5) 措置機関別入所者数 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	遠野市	釜石市	大船渡市	大槌町	計
男	18	2	0	0	20
女	27	2	1	0	30
計	45	4	1	0	50

(6) 年齢別数 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	満 65 歳未満	66～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上	計	平均 年齢
男	0	2	4	4	6	2	2	20	79
女	0	1	2	0	4	11	12	30	88

計	0	3	6	4	10	13	14	50	84.3
---	---	---	---	---	----	----	----	----	------

(7) 介護度別入所者数 (令和6年3月31日現在)

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	6	0	0	4	5	4	1	0	16
女	4	1	0	13	6	2	2	2	33
計	10	1	0	17	11	6	3	2	49

(8) 障害者等加算者・病弱者加算者数 (令和6年3月31日現在)

	障害者等加算	病弱者加算
男	3	5
女	1	13
計	4	18

(9) ショートステイ利用状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	9

(10) 利用者の費用負担状況 (令和6年3月31日現在)

	徴収基準月額	男	女	計
1	0円	3	3	6
2	1,000円 ~ 4,700円	0	1	1
3	5,000円 ~ 9,100円	0	2	2
4	10,800円 ~ 19,100円	3	4	7
5	20,800円 ~ 27,500円	1	2	3
6	30,800円 ~ 39,800円	5	8	13
7	41,800円 ~ 49,800円	4	5	9
8	51,800円 ~ 59,800円	2	0	2
9	62,400円 ~ 81,100円	1	3	4
10	81,100円以上	1	2	3
	合計	20	30	50

備考 上記の該当費用徴収基準月額の上限は、140,000円。

3-2 外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護事業の運営状況

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	8	8	9	8	8	8	8	9	9	11	12	12
女	23	23	21	22	22	22	21	22	22	22	21	21
合計	31	31	30	30	30	30	29	31	31	33	33	33

(2) 要介護度別利用者数 (令和6年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	4	3	4	1	0
女	9	5	2	3	2
合計	13	8	6	4	2

4 利用者の事故とその対応について（長寿の森拠点全体）

（1）事故発生状況（令和5年4月～令和6年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	12	9	6	9	6	10	15	11	9	15	22	18	142
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
暴力	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4
無断外出	3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	6
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	11	1	13	7	6	5	6	5	2	0	1	3	60
その他	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	6
合計	28	12	19	17	14	15	24	17	13	16	24	21	220

（2）事故への対応

10月に発生した誤嚥・窒息の事故は、救急搬送しそのまま入院となりました。また、12月に発生した事故は、夜間トイレから戻った際にベッドのフッドボードをつかみ損ね、受診の結果骨折されていました。この2件の事故は、県南広域振興局・措置権者に報告しました。

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

（1）苦情等の受付状況

受付月日	令和6年2月5日
苦情の内容	家族関係に関すること
対応	<p>遠野市包括支援センター職員が、吉祥園利用者A様の姪様より、A様関係の手紙を送付しないように施設に伝えてあったはずなのに、当施設の「長寿だより」が送られてきて、とても憤慨しているとのことで事実確認のために来園された。</p> <p>連絡先・送付先の変更は、ケアカルテに記録していたが、書類を送付する担当者すべてに周知していなかった。今後の対応策として、住所ラベルのフォルダ管理と送付する際には、担当者同士で変更がないか互いに確認をしながら送付することとした。</p> <p>姪様から直接の連絡はしないでほしいとのことだったので、遠野市包括支援センター職員に、謝罪と改善点について姪様に伝えていただくことにした。</p>

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿の森拠点全体）

月 日	内 容
1月17日	対話支援システム c o m u o o n 908,443円(税込み)
2月21日	自動ドア装置交換修繕 723,800円(税込み)
3月6日	厨房換気扇交換修繕 660,000円(税込み)
3月27日	食堂照明更新工事 968,000円(税込み)

8 行事実施状況

月 日	内 容	参加人数
4月10日～	お花見ドライブ	39名
4月17日	観桜会	49名
6月25日	運動会	49名
8月5日	夏祭り	50名 ご家族15名
9月29日	敬老会	48名 ご家族5名
10月24日	2丁目お楽しみ会（ドライブと会食）	15名
10月31日	1丁目お楽しみ会（ばんがり出張ラーメン）	19名
11月4日	3丁目お楽しみ会（芸術祭）	15名
11月10日	秋の味覚祭	49名
12月19日	吉祥園サンタ	2名
12月22日	クリスマス忘年会	50名
1月12日	白樺会新年会	49名
2月9日	3丁目お楽しみ会（昼食作り）	15名
2月16日	1丁目お楽しみ会（すし木むら出前）	19名
2月22日	2丁目お楽しみ会（スイーツ作り）	16名

9 会議・研修実施状況（長寿の森拠点全体）

（1）会議実施状況

会議内容	回数
全体会議	9回
主任者会議	12回
リスクマネジメント委員会兼虐待防止検討委員会	12回
安全会議	12回
感染症会議	10回
身体拘束及び高齢者権利擁護担当会議	11回
介護会議	9回
厨房会議	10回
給食委員会	5回
ヘルパー会議	12回
デイ会議	12回

（2）施設内研修実施状況

月 日	研修内容	参加人数
6月26日	標準予防策を理解し、日頃のケアに活かす（Livedo研修）	26名
8月30日	高齢者の権利擁護について	24名
9月25日	職場に潜む危険に気づく「KYT」の実践（Livedo研修）	18名
10月30日	この時期に気を付けたい感染症の予防と対策（Livedo研修）	24名
12月18日	不適切ケアについて考える（Livedo研修）グループワーク	34名
1月29日	不適切ケアについて考える（Livedo研修）グループワーク	23名
2月26日	誤嚥（窒息）時の対応 ロールプレイ	24名

（3）施設外研修

月 日	研修内容	参加人数
5月19日～	マネージャー研修（全7回）	1名
7月14日	令和5年度福祉サービスの苦情を考えるセミナー	2名
7月26日	令和5年度岩手中部圏域感染症対策研修会	6名
9月28日	令和5年度岩手中部圏域感染症対策研修会	5名
10月5日	わかる・伝わる文章の勘所「6W5H1R」で伝わる書き方	3名
10月26日	社会福祉従事者研修リーダー研修会	1名
11月29日	外国人技能実習指導員講習	2名
1月19日	エルダー・メンダー制度導入研修会	3名
1月26日	高齢者の虐待防止及び虐待対応に係る研修会	3名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿の森拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
9月11日	特別養護老人ホームむらさき苑	事故の対応と取り組みについて	3名

11 防災訓練等実施（長寿の森拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回 数
職員	通報・避難誘導	夜間帯の火災を想定し、マニュアルに沿って通報から避難誘導までの訓練を実施。	7回
職員 利用者	総合避難訓練 (夜間想定)	消防署職員立ち合いのもと、夜間帯を想定し、通報・避難誘導の訓練を実施。	1回
職員	土砂災害対応訓練	警戒レベル 3・4 が発令された時の動きの確認	5回
職員	通報・避難誘導	日勤帯の火災を想定し、マニュアルに沿って通報から避難誘導までの訓練を実施。	4回
職員	普通救命講習Ⅱ	心肺蘇生法・AEDの取扱い・異物除去法 止血法・筆記、実技試験	3回

12 ボランティアの状況（長寿の森拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
月 日	なし		名

【9】デイサービスセンター長寿の森 踊鹿

1 実践目標

1. 利用者の在宅生活を理解し、その暮らしを支えられる事業所になる。
2. 地域資源の把握と活用により、地域の方との活動の機会が増えている。

数値目標

稼働率 86%以上（1日利用平均26名以上）

月間収入目標 5,290,000円

年間収入目標 63,480,000円

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標1.「利用者の在宅生活を理解し、その暮らしを支えられる事業所になる。」について、項目として①利用者の楽しみ、憩いを重視した事業所作りを目指す。②家族・関係機関との情報共有を行い、チームケアの向上の実践。③整理整頓されている環境作りとした。①については、定期的に座談会を行ったり、下半期に満足度調査を行うなどして、利用者や家族の希望を把握することに努めた。付加価値のある活動として、セラチューブを使ったりハビリに特化した活動の提供を目指したが、職員の体制が不安定だったこともあり、計画のみで実践することができなかった。②については、担当者会議等でケアマネや家族と情報共有を行うことができた。職員間では申し送りノートを活用し職員間の情報共有を行った。③については、清掃や整理整頓する場所の担当職員を決めていたが、意識して清掃や整理整頓することができなかった。活動で行った作品を飾るなど、季節に合わせたデイホールの装飾を実施することができた。

実践目標2.「地域資源の把握と活用により、地域の方との活動の機会が増えている。」について、実践項目として①青笹町の地域資源について情報収集を行い利用者・職員の社会参加の促進を図る。②地域に向けて情報発信を行うとした。①については、青笹地区センターで行っている、民事協の会議に参加し、青笹のまるごと相談員や民生委員と情報交換を行うことができたが、デイサービスから地域に向けた活動は実施することができなかった。②については、利用者家族向けにはなるが、在宅介護で役立つ情報を下半期に発行している。

数値目標について、稼働率86%以上（1日利用平均26名以上）に対し、平均稼働率84%（1日利用平均25名）となった。月間収入目標5,290,000円、年間収入目標63,480,000円に対し、平均月間収入が4,865,037円、年間収入が58,380,441円となった。稼働率、収入ともに目標達成とはならなかった。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
事業	実人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
	対象者 延べ人員	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51	4.3
要支援 1	実人員	18	17	19	17	18	19	20	21	20	19	18	17	223	18.6
	延べ人員	70	85	87	70	85	79	83	90	76	69	67	65	926	77.2
要支援 2	実人員	8	9	8	6	6	7	7	8	10	9	10	10	98	8.2
	延べ人員	58	53	48	44	32	47	47	52	67	62	66	70	646	53.8
要介護 1	実人員	38	38	38	35	33	33	34	35	34	33	31	32	414	34.5
	延べ人員	298	319	279	270	264	262	270	274	263	250	226	261	3239	270
要介護 2	実人員	14	14	14	15	14	13	15	14	14	13	14	13	167	13.9
	延べ人員	111	115	105	126	130	106	102	98	101	93	95	92	1274	106.2
要介護 3	実人員	3	3	2	6	5	6	6	6	6	7	6	6	62	5.2
	延べ人員	30	30	31	36	47	51	57	57	51	56	61	61	568	47.3
要介護 4	実人員	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	2	2	18	1.5
	延べ人員	5	4	6	9	11	6	4	11	9	4	9	7	85	7.1
要介護 5	実人員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	50	4.2
	延べ人員	57	57	62	53	53	48	54	56	56	46	57	46	645	53.8
合計	実人員	87	87	87	86	83	84	88	91	91	87	87	86	1044	87
	延べ人員	633	668	622	612	627	603	621	643	627	584	585	606	7431	619.2
平均利用者数/日 稼働率 (%)		26.9	26.2	25.5	24.5	24.6	24.3	25.3	26.1	26.1	25.6	24.6	24.7	334.4	27.87
		89.6	87.3	85	81.6	82	81.1	84.3	87	84.3	85.3	82.1	82.1	1011.7	84.3

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対応	

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
オムツいじりをして しまう利用者様	つなぎ服の着用	自宅でつなぎ服を着用した状態。デイサービス利用時、午前の入浴後は普通のパジャマに着替える。帰る前につなぎ服に交換し自宅に帰っている。

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事实施状況

月	内 容
4月	お花見ドライブ・産直ドライブ・カラーボーリング
5月	運動会・借り物競争・輪投げない
6月	フリースロー・ドライブ・フリスビー
7月	七夕巻き巻き・ボッチャ・タコ釣り
8月	スカットボール・新聞落とし・追い出し風船
9月	敬老会・卓上テニス・足で引っ張れ
10月	ウォクラリー・玉入れない・座ってサッカー
11月	紅葉ドライブ・栗拾いゲーム・根菜ホリホリ
12月	クリスマス会・忘年会
1月	初詣・新年会・カルタとり
2月	豆まき・鬼退治・足で引っ張れ
3月	ひな祭り・一網打尽・輪投げ

【10】ヘルパーステーション長寿の森

1 実践目標

1. 住み慣れた自宅で安心して生活を送ることができている
2. 外部サービスを利用し、吉祥園で安心して生活が出来る

数値目標

月間収入目標	4,100,000円	(受託 2,800,000円)	在宅 1,300,000円)
年間収入目標	49,200,000円	(受託 33,600,000円)	在宅 15,600,000円)

2 実践目標の達成状況及び成果

【在宅】

「住み慣れた自宅で安心して生活を送ることができている」を実践目標とし、一年間取り組んだ。

小規模な事業所の特性をいかし、こまめに利用者の情報共有を行なった。

利用者の傾向として、踊鹿デイを利用、独居、吉祥園入所の待機者が多く、在宅生活を安心して継続できるよう支援し、下半期には、冷凍のお弁当を届け、食の面を支援するケースもあった。

吉祥園入居後も、不安なく施設生活に馴染むことができるような支援をし、入所の橋渡しを行なった。

お看取りの利用者については、医療の知識を勉強しながら、担当ケアマネや各訪問看護事業所と蜜に情報共有、支援の隙間、すれ違いが無いよう連携を図った。毎日、事業所内でミニカンファを行ない、穏やかに終末期を過ごせるように支援した。また、ご家族に対しては助言、ときには柔軟にサービスに入り、不安の軽減を図った。

下半期には、施設入所、長期入院、死亡と、それまで手厚く入っていた利用者の契約解除が続いた上に新規がなく、収入面ではかなりの落ち込みが見られた。

来年度も小さい事業所なりのいいところの特性をいかし、各居宅支援事業所に情報提供しながら新規の受け入れをしていきたい。

【受託】

令和5年度は月2,800,000円を収入目標としてきたが、介護度が高く介助量の多い利用者は特養への施設替えや状態の変化に伴い死亡退所される方も多かった。年間を通して達成出来た月は少なく目標値になかなか達することが出来なかった。

収入を少しでも維持するために、特定サービスをすでに利用されている方については日々の申し送り等で情報を共有し、状態が変化し介助量が増えてきているようであればプランの見直しやサービスの追加を行った。新規入所された方についても、状態を見ながら特定サービスの対象となるようであれば新たにサービスを開始し収入アップに努めたが、実際の介助量に見合ったサービスの見極めが不十分だったことが反省点として挙げられる。

受託サービスの年間目標金額が33,600,000円なのに対し、収入額は31,039,180円で、

達成率は92.4%となった。

次年度も利用者が吉祥園で安心して生活が出来るよう、多職種で情報共有しサービス内容の見極めをしながら支援していきたい。

数値目標に関しては、受託サービス・在宅サービス合わせて目標金額の44,724,373円に対し在宅：13,685,373円、受託：31,039,180円、計：44,724,553円の収入を得た。

達成率にすると90.9%という結果となる。

3-1 在宅サービスの運営状況

(1) 利用者の要介護度（令和6年3月31日現在）

	事業対象 要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	6	2	3	1	2	0	14
女	8	1	4	1	2	1	17
合計	14	3	7	2	4	1	31

(2) 利用状況（介護区分別 回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	107	136	143	134	112	113	155	155	113	96	68	61	1393
身体・生活	105	105	113	96	81	75	50	36	34	36	43	63	837
生活援助	103	89	72	71	68	86	84	89	84	71	56	40	913
訪問型独自	47	43	38	39	35	43	40	43	49	56	52	53	538

3-2 受託サービスの運営状況

(1) 利用者の要介護度（令和6年3月31日現在）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	8	7	4	3	0	22
女	0	5	2	1	1	2	11
合計	0	13	9	5	4	2	33

(2) 利用状況（介護区分別 回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	1916	1834	1810	2002	2012	1862	1966	2157	2191	2110	1947	1987	23794
生活援助	584	627	581	605	534	575	592	627	613	643	587	589	7157

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対 応	

【11】小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵

1 実践目標

1. 人材育成と業務効率化を進め、質の高いサービスを提供し安定した事業運営を目指す。
2. 地域との連携・協働を推進し、地域に頼られ地域に貢献できる事業所。
3. 利用者一人一人に丁寧に向き合い、寄り添うケアの実践。

数値目標

稼働率（登録者）	80%以上
月間収入目標	6, 1 5 3, 0 0 0円以上
年間収入目標	7 3, 8 4 0, 0 0 0円以上

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標の「人材育成と業務の効率化を進め、質の高いサービスを提供し安定した事業運営を目指す。」については、長寿庵会議の中でその都度、職員の意見を取り入れながら業務の見直しを行い効率化を進めることが出来た。また、人材育成に関しては施設内研修を充実させ、スキルアップを目指したが、課題が残るものとなった。安定した事業運営に関しては、介護度の高い利用者の契約終了（長期入所・GHへの入所等）が続き、新規利用者が少なかったことから登録者数でみる稼働率については80%の目標に対して67.3%と達成することが出来なかった。現在利用している利用者のニーズも変化しており、定員9名の宿泊サービスに対しての稼働率は92.5%、通いサービスに対しての稼働率は91.2%と登録者数は減少しているが、一人の利用者へのサービス量が増えている。

実践目標の「地域との連携・協働を推進し、地域に頼られ地域に貢献できる事業所。」に関しては、地域の認知症高齢者に対して地域包括支援センターや地域住民の方と情報共有しながら連携し問題解決にあたる事が出来た。また、行事への参加や地区の総会へ参加、地域住民参加の防災訓練を開催することで、長寿庵の役割を知ってもらう事が出来た。

実践目標の「利用者一人一人に丁寧に向き合い、寄り添うケアの実践。」に関しては、毎月の長寿庵会議や朝の申し送りの際に状況確認と対応策を話し合い利用者一人一人に合わせたケアの方法を確認することが出来た。また、ケアカルテや申し送りノートを活用し情報共有に努めたが不十分であった。

数値目標に関しては、稼働率（登録者）80%以上に対し67.3%、月間収入目標6,153,000円以上に対し5,850,354円、年間収入目標73,840,000円以上に対し、70,204,249円と達成できなかった。契約終了者数に対し新規利用者数が伸び悩んだことが要因と考えられる。

3 運営状況

(1) 月別登録者状況 (延べ人数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	述べ人数 合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要支援2	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	13
要介護1	5	6	5	6	7	7	7	6	6	5	5	6	71
要介護2	7	7	6	6	5	3	3	2	1	1	1	1	43
要介護3	2	2	2	2	2	3	4	6	6	7	7	7	50
要介護4	4	4	4	4	5	2	2	2	2	2	2	2	35
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23
合計	20	21	20	21	22	18	19	18	18	19	19	21	

(2) 月別利用状況 (サービス提供回数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均 合計
通所	178	162	172	145	165	186	165	167	171	153	174	201	2,039
訪問	325	343	265	251	245	313	298	297	300	291	347	395	3,670
宿泊	260	277	235	234	259	241	233	238	240	253	235	266	2,971

(3) 月別新規受け入れ及び終了者の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
登録件数	0	0	3	0	2	1	1	0	2	0	1	0	0.8
終了件数	2	4	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	1

(4) 年齢構成 (令和6年3月31日現在21名)

区分	59 以下	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 以上	合計
男	0	0	2	0	0	0	2	3	7
女	0	0	0	0	1	2	6	5	14

4 利用者の事故とその対応について (長寿庵拠点全体)

(1) 事故発生状況 (令和5年4月~令和6年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	1	1	2	4	4	0	3	5	0	0	1	0	21
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

外傷・あざ	1	0	1	1	1	0	2	0	1	6	2	2	17
その他	0	0	0	2	0	0	4	2	0	2	1	3	14
合 計	2	1	4	8	5	1	9	7	1	8	5	5	56

(2) 事故への対応

今年度、遠野市に報告する事故はありませんでした。転倒事故に関してはセンサーマットを使い転倒防止に努めているが、夜間の職員が一人しかいない時に他の利用者の介助に入っている時に多くみられる。その次に多く見られるのが衣類の返し間違いや手帳の入れ間違い等人的ミスによる事故が多くみられる。これらについては確認方法を検討し再発防止に努めている。

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対 応	

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿庵拠点全体）

月 日	内 容
10月31日	非常ベル・警報ランプ増設工事
12月18日	充電式ブレード購入（除雪機）
1月5日	1階食器洗い乾燥機交換
2月1日	掃除機&床拭きロボット購入
3月18日	2階ガス給湯器交換工事

8 行事実施状況

月 日	内 容	参加人数
4月8.9.11日	お花見ドライブ	16名
5月19日	長寿庵開所15周年記念	14名
5月21.28日	SL見学ドライブ	10名
6月4.10日	SL見学ドライブ	14名
6月17日	お誕生日会	15名

7月10日	ドライブ アジサイロード	10名
8月6日	ドライブ (上郷～ひまわり畑)	8名
8月27日	巖龍不動の祭典	6名
9月16日	とおの祭り見学	13名
10月23日	敬老会	12名
11月6日	紅葉ドライブ	6名
12月22日	遠野保育園クリスマス交流会	2名
1月15日	みずき団子作り	11名
1月20日	初詣	3名
2月4日	節分	11名

9 会議・研修実施状況（長寿庵拠点全体）

(1) 会議実施状況

会議内容	回数
長寿庵会議	12回
運営推進会議	6回

(2) 施設内研修実施状況

月日	研修内容	参加人数
6月26日	感染症研修	10名
8月28日	身体拘束廃止	10名
9月26日	感染症研修	10名
10月27日	認知症研修	10名
11月27日	介護技術研修	11名
12月26日	危険予知訓練	10名
1月31日	高齢者の権利擁護	8名

(3) 施設外研修

月日	研修内容	参加人数
12月7日	小規模多機能 事例研究会	2名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿庵拠点全体）

月日	所属又は氏名	内容	人数
月日	なし		名

11 防災訓練等実施（長寿庵拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回数
職員・利用者	総合訓練	日中・夜間想定避難訓練（火災想定）	2回
職員		緊急連絡網訓練	1回

12 ボランティアの状況（長寿庵拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
10月31日	遠野保育園	ハロウィン訪問	15名

【12】 経営改革室

1 取り組み経過

月日	取り組み	成果物
4月27日	第7回経営改革会議 年次目標・計画の再確認	情報共有
5月11日	第5回経営改革推進会議・経営改革会議（合同） 年次目標・計画の再確認、アクションプラン役割分担	役割の明確化
5月25日	第8回経営改革会議 中長期計画の見直し、策定の進め方の共有	スケジュールの確認、共有
7月11日	第1回若年者未来会議 若手職員と今後の展望について座談会	若年者同士のネットワーク、考えの共有
7月21日	第6回経営改革推進会議 アクションプランの進捗確認、中長期計画の検証	アクションプラン 60% 実施済
7月27日	第9回経営改革会議 アクションプランの進捗報告、中長期計画の検証	
9月4日	第10回経営改革会議 中長期計画の課題整理・目標設定	
9月6日	第7回経営改革推進会議 アクションプランの進捗確認、法人の魅力化	アクションプラン 70% 実施済
9月28日	第11回経営改革会議 アクションプランの進捗報告、人財マネジメント	
10月26日	第12回経営改革会議 中長期計画の目標設定	
11月10日	第8回経営改革推進会議 人材育成・教育の仕組み構築	人材育成と課題の共有
11月22日	第2回若年者未来会議 人材育成について意見交換	
11月30日	第13回経営改革会議 人材育成、中長期計画について	
12月28日	第14回経営改革会議 中長期計画、人材育成について	中長期計画の策定 人材育成基本方針の策定
1月12日	第9回経営改革推進会議 アクションプランの進捗確認、中長期計画（案）の説明、人材育成基本方針（案）の説明	アクションプラン 80% 実施 中長期計画、人材育成基本方針の共有
1月25日	第15回経営改革会議 アクションプランの進捗報告、介護報酬改定について、組織図について	

2月中	各部署会議にて「第四期中長期計画」「人材育成基本方針」の説明	中長期計画、人材育成基本方針の共有
2月29日	第16回経営改革会議 年次報告	
3月15日	第10回経営改革推進会議・経営改革会議（合同） 年次振り返り、次年度計画の共有	経営改革の課題と成果の共有

2 その他の取り組み経過

月日	取り組み内容	成果物
11月 17日～19日	遠野しごと展に出展 法人PR、求人活動	認知度向上、応募者増加

3 取り組みの成果

今年度は4か年計画の2年目となった。昨年度の1年目は「思考と試行の年」と位置づけ、職員ヒアリングやSWOT分析、業務の見える化など介護現場や当法人の現状把握、分析、課題整理を行った。これらのプロセスを踏まえ（1）生産性向上、（2）ブランディング、（3）財務戦略の3つの柱を重点事項とした経営改革方針、4か年ロードマップを策定した。また目標を具現化するための行動計画にあたる生産性向上のための「アクションプラン」の策定を行った。そして、今年度はその「アクションプラン」の実行することを中心に、並行してブランディング活動と法人第三期中長期計画の検証と第四期中長期計画の策定を行った。

生産性向上のための「アクションプラン」では、104個の実行項目のうち64項目を実行できた。Wi-Fi環境整備や見守りロボットセンサーなどのICTの導入による利用者サービスの質の向上と職員の負担軽減、リネンやオムツの見直しによるタイムパフォーマンスの向上、節電やペーパーレスによるコスト削減ができた。

ブランディングでは、新鮮な情報を発信することを意識し、ホームページの情報更新、求人ページの工夫、遠野しごと展に出展するなど法人の認知拡大と向上に努めた。

4 反省・課題

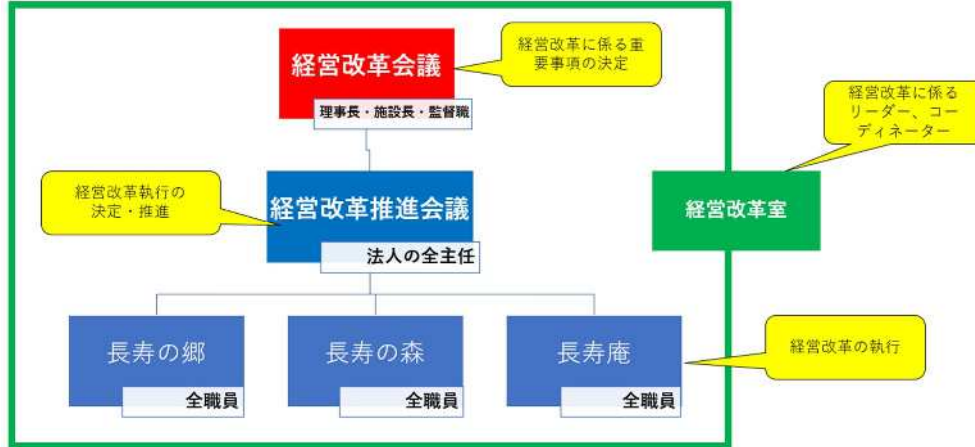
コロナ対策、物価高騰など法人経営に大きな影響があり、その中でのプロジェクトであり、主任を中心に負担が大きかったと思う。また長寿の郷拠点に偏った取り組みで、長寿の森・長寿庵拠点がおざなりになった部分が多かった。

【経営改革の概要】

I 理念とコンセプト

理念	コンセプト
新しい介護文化を創造する	みんなの想いを形にする全員参画型経営改革

2 組織・体制



3 目標

定性目標	定量目標
1. 業務の効率化を図り、サービスの質と職員の処遇を向上する	1. 生産性を1.2倍にする（令和3年度を基準）
2. 持続可能な組織づくり	2. 年間利益率5%以上を維持する

4 重点事項

1. 生産性の向上	2. ブランディング	3. 財務戦略の立案
-----------	------------	------------

5 計画・スケジュール

